



第15回創立記念式を挙行

5月30日（金）、同窓会長 鈴木潤一郎様、PTA 会長 八鍬大輔様、学事奨励会長 深瀬耕介様、NDソフトアスリートクラブ監督 渡邊清紘様のご臨席を賜り、第15回創立記念式を挙行しました。校長式辞と生徒会長岩瀬仁志さんの生徒代表の言葉を通して、昭和の時代から刻まれ今日まで受け継がれてきた歴史と伝統の重みを実感するとともに、赤湯中学校の生徒である自覚と誇りを一層高めました。また今回、校長式辞の中で、南陽市学校教育の充実・発展に大きな役割を果たしてきた南陽市中学校連合運動会について触れました。この運動会は、昭和26年開催の南陽市中学校連合運動会の前身である第1回北部連合大運動会（優勝中川中）から、最後の開催となった令和元年の大会（優勝赤湯中）まで60回を数え、生徒たちの「自立の力」を表現する飛躍の場となってきました。この間、昭和42年の南陽市市制施行や平成22年の中学校再編統合など、様々な変化がありましたが、中学生の活気に満ちた姿は地域に元気を与え、地域の活性化や発展に貢献する機会を担ってきました。歴史に刻まれた南陽市中学校連合運動会の精神を後世にも引き継いでいきたいと思ひます。

式典後、中川中学校の卒業生である渡邊清紘様に「後輩へのメッセージ」として記念講話をしていただきました。冒頭、2021東京オリンピックで聖火ランナーを務めた話に触れられ、実際に使用したトーチ棒を、全校生徒が持たせていただきました。「皆さんには様々な体験を通して自分の将来を考えてほしい」というメッセージを、ご自身の経験をもとに熱く語っていただきました。また現在、中川小や中川中が存在しないことに触れられ、「愛校歌（旧中川中校歌）を聞いて涙が出た」と感慨深く語られました。

「赤湯まっすぐ見守り隊」の皆様 ありがとうございます

5月20日（火）の全校朝会にて「交通安全ありがとう運動」を行っていく上での注意点を、生徒会執行部による劇で確認しました。また、生徒とともに交差点に立っていただいている「赤湯まっすぐ見守り隊」の長谷川謙一様と嶋貫憲仁様にご来校いただき、話をお聞きしました。「中学生の姿が見えるとホッとする」「中学生の活動は地域を元気にしている」などと、温かいお言葉を頂戴しました。地域から交通事故がなくなるように、これからも赤中生から交通安全を啓蒙していきます。



大熱戦！応援クラスマッチ！！

5月30日（金）、赤湯小学校の5・6年生、保護者・地域の方をお迎えし、本校伝統の「応援クラスマッチ」が行われました。縦割り兄弟学級3軍による応援と、全校生による全校応援が披露されました。迫力のある応援にしようと団長会で話し合い、声量・反り・腕の振り・きびきびした動き・隊列などを練習のテーマに掲げ、3年生の応援リーダーを中心に、約2週間がんばってきました。本番ではどの組も甲乙つけがたい素晴らしい応援を披露しました。結果は、**最優秀応援団結賞緑組、優秀応援団結賞オレンジ組**となりました。生徒たちの熱い気持ちとがんばりに大きな拍手を送ります。参観した小学生からは「去年よりさらに迫力が増した応援だった」「中学生はすごい」などの感想が寄せられました。

各組団長が、応援クラスマッチを終えて感じた成長点と課題点を発表しましたので紹介します。

◆**緑組団長 後藤利空さん**「練習では指示が通らないなど、なかなか一つにまとまらなかった。本番ではみんな集中してよかった。隊列は日頃から意識していきたい。」

◆**ピンク組団長 齋藤唯斗さん**「応援に向かう姿勢がよくなった。振りや反りがそろい本気度が上がった。練習中の私語が多かったので、体育祭に向けて反省点を生かしていきたい。」

◆**オレンジ組団長 松浦来輝さん**「当日は100%の応援を披露することができた。練習では、整列するまでに時間がかかったので、体育祭では素早くならび練習時間をもっと有効に使いたい。」



今年度の生徒会横断幕



★今年度の生徒会横断幕を紹介します。今年度は、スローガン「新華」をベースに、行事ごとのスローガンを書き足していくという新たな取り組みをしています。階段を上がるように、これから積み上がっていく横断幕にもご注目下さい。



生徒の様子や活躍は、ホームページでご紹介しています。

<http://www.akatyusakura.ne.jp/> へアクセスしてください。

